



ディイジーほいくえん



法 人 株式会社 スリーピース

園の名称 ディイジー保育園 麻布十番フォレスト

所 在 地 〒106-0045 東京都港区麻布十番 3-10-12 シティ麻布 302 号室

T e l : 03-5439-9241 F a x : 03-5439-9242

U R L : <http://threepeace.life/>



THREE PEACE



《園だより》

- ・毎月、保育園より行事予定・お知らせ・保育の様子などをお知らせします。

《給食献立表》

- ・毎月月末に、翌月の給食献立表を配布します。

《連絡帳》

- ・乳児の場合は、24時間の子どもの様子を把握する必要があります。
① 家庭での朝夕の子どもの様子を記入して、毎日園に持ってきてください。
② その日の、園でのお子さんの様子を描いて、降園のときに持ち帰ります。
③ お子さんの成長記録のため、複写部分を園にて保管させていただきます。

《健康カード》

- ・毎月一回、身体測定をします。健康カードに記入して家庭に持ち帰りますので、押印またはサインをして園にお返しください。
- ・感染症、予防接種の欄も持ち帰った際に記入してください。

《職員紹介ボード》

- ・園内に職員の写真と名前を紹介しています。

また、何かありましたら、お気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。



子どもにとって食べることは、身体の発達だけでなく、情緒面の発達にも影響を与えます。特に乳幼児期は、心身の成長のため多くの栄養を必要とします。

保育園では、質・量・栄養バランスを十分に考えるとともに、望ましい食習慣を身につけられるように心がけています。

《保育園の給食》

〔給食の目標〕

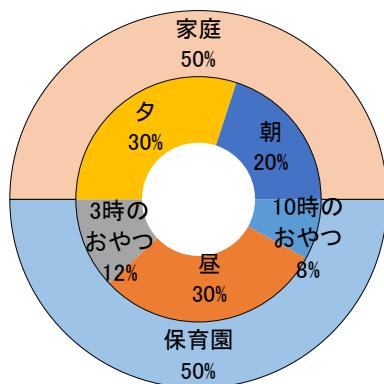
- 食事のリズムを大切にする
- よくかんで食べる習慣を付ける
- いろいろな食品が食べられるようになる



- (1) 納食は主食・副食・おやつを栄養と衛生管理に十分に気を付けて作っています。
また、手作りおやつも行っています。
- (2) 乳幼児期は、咀しゃくや消化吸収、代謝機能が未熟なので、発育段階に合わせて納食を行っています。
離乳食は、5~6ヶ月頃食、7~11ヶ月頃食、12~18ヶ月頃食に分けて作っています。
- (3) 季節の食品を取り入れ、新鮮な物を使い、うす味にしています。
- (4) 食物アレルギーなどについては、除去・代替などで対応しています。

《給食と家庭の食事》

- (1) 献立表は毎月お渡ししますので、家庭の献立の参考にしてください。
- (2) 次の図は、1~2歳児の1日の食事のうち、園と家庭との割合を示したものです。家庭の食事もバランスのよいものを工夫しましょう。特に朝食は、1日の生活リズムを作り、意欲的に遊ぶための活動源になりますので、しっかりと食べるよう心がけましょう。



《1日に食べる目安量》

働き	食品	1~2歳(g)	おもな食品の重さ
からだをつくる	牛乳・乳製品	400	牛乳 1本 200 cc
	卵	50	卵 1ヶ 50 g
	肉	20	
	魚	20	魚 1切 80 g
	大豆製品	40	豆腐 1丁 300 g
からだの調子をととのえる	緑黄色野菜	60	ほうれん草 一把 300 g
	淡色野菜	60	きゅうり 1本 100 g
	海藻	少々	
	いも類	40	じゃが芋 1ヶ 100 g
	果物	100	りんご 1ヶ 200 g
働く力や体温となる	油	10	油 大さじ1 13 cc
	ごはん	100g×3回	
	砂糖	5	砂糖 小さじ1 3 g

※ごはん 100g (子ども茶碗一杯) = 食パン 8枚切り一枚 = ゆでうどん 150g = スパゲティ(乾) 40g

【献立】

- * 業務委託先の献立を元に調理師が作成しています。
- * 添加物を使わず、昆布やかつお節などでだし汁をとり、薄味で素材の旨みを生かした献立です。
- * 行事にちなんだ給食を提供します。
(こどもの日、七夕、クリスマス会、節分、ひな祭りなど)



【年齢別 食育年間計画】

(0歳児)

いろいろな食品に慣れ、喜んで食べる

(1歳児)

スプーンの使い方を知り、楽しく食べる

(2歳児)

スプーンを使って自分で食べ、楽しく食事をする



健康管理



健康は、元気に生き生きと生活する基本です。生活のリズムが乱れることは、心や身体の未発達な子どもにとって大変負担になります。家庭と保育園の生活を通して、規則正しい生活のリズムを作ていきましょう。



《早起き・早寝》

- (1) 朝7時頃までに起床し、夜9時頃までには寝られるよう、環境を整えましょう。
- (2) 大人の都合で夜ふかしなどしないように、早起き、早寝の習慣をつけましょう。
- (3)

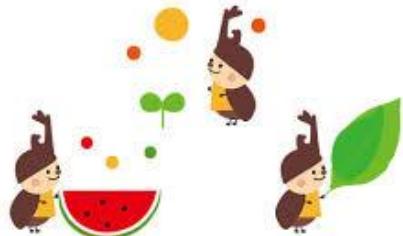
1日の睡眠時間（昼寝を含むおよそのめやす）

年齢	1歳未満	1~2歳	3~6歳
時間	13時間以上	12~13時間	10~12時間

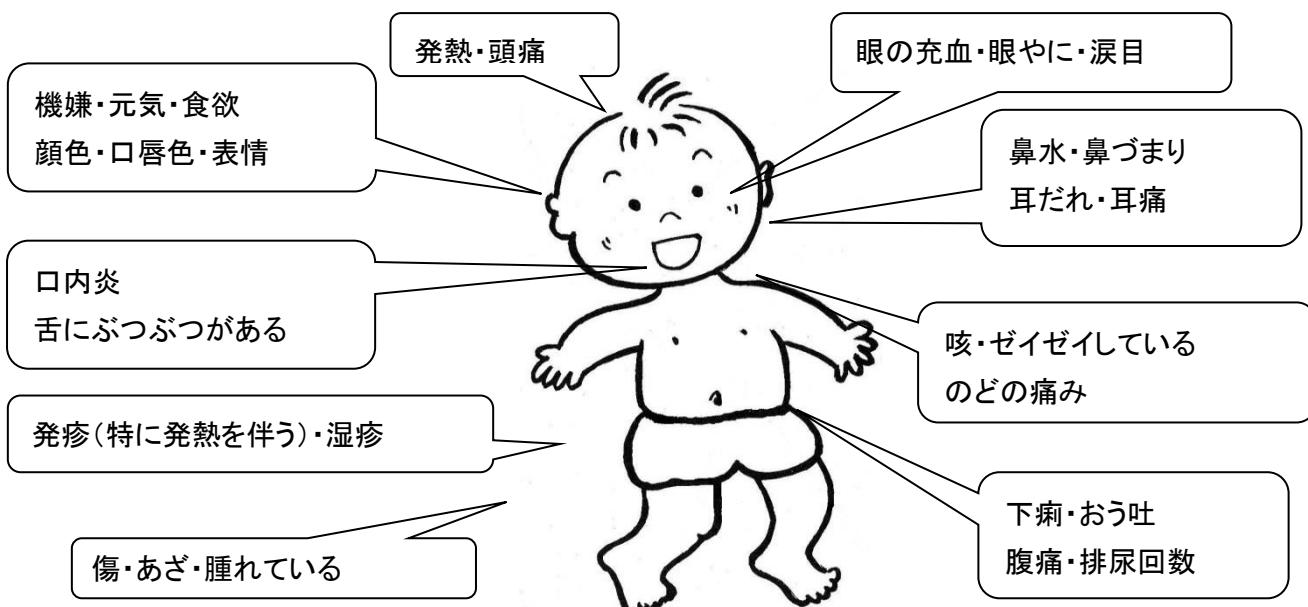
《登園する前に》

一気持ちのよい朝のスタートを—

- (1) 大人が余裕のある朝を迎えましょう。
- (2) お子さんの体調、体温、機嫌などに気を配りましょう。
- (3) 顔を洗い、歯をみがき、髪を整えましょう。
- (4) 朝食は必ず食べてから登園させましょう。
(食事はお子さんの成長や遊びに必要なエネルギー源です。)
- (5) 毎朝トイレに行き、排便する習慣をつけましょう。



《登園前のチェックポイント》



《 登園を控えた方が良い場合 》

発熱	<ul style="list-style-type: none"> 朝 37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い 食欲がなく朝食・水分が摂れていない 24 時間以内に解熱剤を使用している 24 時間以内に 38℃以上の熱がでていた
下痢 おう吐	<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある 食事や水分を摂ると下痢がある（1 日に 4 回以上の下痢） 下痢やおう吐に伴い、体温がいつもより高めである 朝、排尿が無い 24 時間以内に 2 回以上のおう吐がある・食欲が無く水分も欲しがらない 機嫌が悪い、元気がない・顔色が悪くぐったりしている
咳	<ul style="list-style-type: none"> 夜間しばしば咳のために起きる 喘鳴や呼吸困難がある 呼吸が速い 37.5℃以上の熱を伴っている 元気がなく機嫌が悪い 食欲がなく朝食、水分が摂れない・少し動いただけで咳が出る
発疹	<ul style="list-style-type: none"> 発熱とともに発疹があるとき 今までなかつた発疹が出て感染症が疑われ、医師より登園を控えるように指示されたとき 口内炎で水分や食事が摂れない

厚生労働省 保育所における感染症対策ガイドラインより抜粋

※登園可能かどうか心配な時は、かかりつけ医に相談してください。

☆室内保育を希望される方は、区内に病児・病後児保育室がありますので、登録をおすすめしています。

※両親もしくはご家族でインフルエンザにかかっている場合は、保育園での受け入れはご遠慮させていただいているので、予めご承知おきください。

《 清潔 》

- (1) うがい・手洗いをする習慣をつけましょう。
- (2) 朝晩は必ず歯磨きをし、1 日 1 回は大人が仕上げみがきをしましょう。
- (3) 手足の爪は、一週間に一度は必ず切りましょう。
- (4) 入浴、洗髪、身体を拭くなど清潔を心掛けましょう。

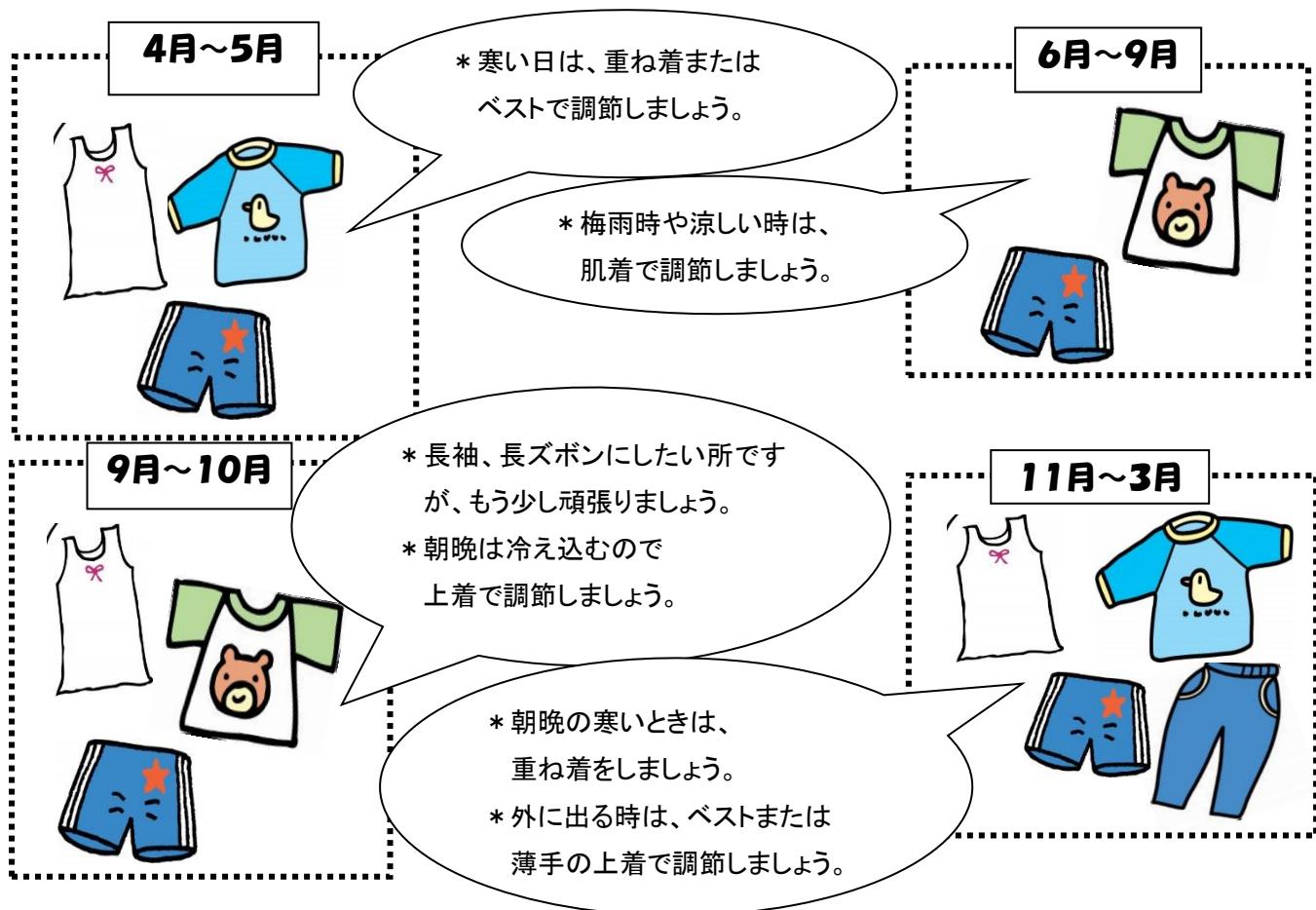


《 衣類 》

- (1) 保育園での衣類は、体にあった動きやすいものにしましょう。
- (2) 肌につける衣類は、綿素材が優れています。年間を通して肌着はランニングまたは半袖でお腹が隠れるものにしましょう。
- (3) 危険防止のため、フードや飾り・ひものないシンプルな物にしましょう。
ヘアピンや髪止めの使用は避けましょう。
- (4) 装飾（ボタン含む）のある衣類は、誤飲の原因となるためご遠慮ください。
- (5) 1歳を目安にテープ式オムツ・ロンパス下着の着用をご遠慮ください。

※ 寒くなるとつい厚着をさせてしまいますが、丈夫に育てるためには、皮膚を鍛えることが大切です。
薄着に慣れることによって気温の変化を身体で調節し、風邪をひきにくくなります。
ただし、体調が良くないときは、無理をしないで保温することが大切です。

《 1 年間の衣服の目安 》



※ 保育園では、室内温度を夏は冷房を使用して 28°C 前後に、
冬は暖房を使用して 18～22°C 前後に保つようにしています。

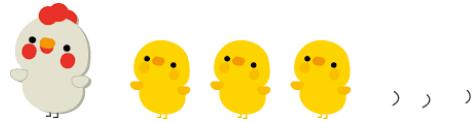
《環境衛生》

環境衛生面については、特に注意を払っています。

毎日	給食用具・食器の消毒、園舎内の清掃
毎週	寝具乾燥消毒
毎月	職員の細菌検査 換気扇・エアコン・空気清浄器の清掃
年間	園舎害虫駆除、カーテン

《薬について》

薬はできるだけ、家庭で対応ができるようにかかりつけ医とご相談ください。



※慢性疾患など、薬の使用なしでは日常生活に支障のある場合には事前にご相談ください。

- 熱性けいれん、てんかんなどのけいれん予防薬
- 慢性疾患（心臓病など）の治療薬



《予防接種》

お母さんからもらった免疫は、生後8ヶ月ごろまでに自然に失われていきます。その後は自分で免疫をつくって病気を予防していくことになりますが、これに役立つのが予防接種です。

予防接種は感染症を防ぎ、症状を軽くし、病気の流行防止の役目があります。

保育園のように免疫力の未熟な子どもの集団では、大流行を起こす危険があります。

お子様の健康状態を見ながらかかりつけ医と相談し予防接種を受けましょう。

なお、予防接種を受けた時は、必ず保育園にお知らせください。



定期予防接種の種類	任意予防接種の種類
BCG（結核）・小児用肺炎球菌・ヒブ・ 四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ） ・MR（麻疹・風疹）・水痘・日本脳炎	ロタウイルス・B型肝炎・ 流行性耳下腺炎・インフルエンザ

※ 予防接種を受けた後は、健康カードの予防接種欄に記入をお願いします

《感染症》

感染症にかかった時は、学校保健安全法に基づいて、集団の健康を守るためにお休みして頂く場合があります。

《登園許可証について》

感染症が治ってはじめて登園する日は、感染症の内容に応じて「A 医師の意見書」または「B 保護者記入による登園届け」の提出が必要です。

登園許可証は、各ご家庭でダウンロードできます。(下記参照)パソコンから印刷できない方には各保育園にも用意がありますのでお申し出ください。

※家庭内に感染症がでた場合は、保育園にお知らせください。

みほん

A 医師の意見書		B 保護者記入による登園届け	
(あて先)	保育園長	(あて先)	保育園長
園児名	園児名	園児名	園児名
病名	病名	病名	病名
症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので 年 月 日 から登園可能と判断します。		年 月 日 に 医療機関名 において	
年 月 日		年 月 日	
医療機関	医療機関	病状が回復し、集団生活に支障がなくなりましたので登園いたします。	病状が回復し、集団生活に支障がなくなりましたので登園いたしました。
医師名	印又はサイン	医師名	印又はサイン
保育園受取	年 月 日 印又はサイン	保育園受取	年 月 日 印又はサイン

港区ホームページ <http://www.city.minato.tokyo.jp/index.html>

「A 医師の意見書」または「B 保護者記入による登園届け」の提出が必要な感染症一覧表
<http://www.city.minato.tokyo.jp/kodomo/kodomo/hoikuen/annai/shorui/documents/28kansensho.pdf>

「A医師の意見書」〈区指定様式〉
<https://www.city.minato.tokyo.jp/kodomo/kodomo/hoikuen/annai/shorui/documents/aikensho2902.pdf>

「B 保護者記入による登園届け」〈区指定様式〉
<http://www.city.minato.tokyo.jp/kodomo/kodomo/hoikuen/annai/shorui/documents/btoentodoke2902.pdf>

*港区HP(ホーム) > 子ども・家庭・教育 > 子ども・家庭 > 保育園 > 申請書ダウンロード >
入園時、入園後の提出書類 の 3その他 提出書類 より

《 昼寝について 》

昼寝は、子どもの年齢や発達過程、家庭での生活（就寝時間）や保育時間などを考慮して、必要に応じ取り入れています。昼寝の時には、室温の調整や眠りやすい環境を整えるばかりでなく、乳幼児突然死症候群（SIDS）の発生予防や体調急変に迅速な対応をするため、以下のこと配慮しています。

- (1) できるだけ仰向で寝かせるようにしています。
- (2) 掛け物が顔にかかるないように注意しています。
- (3) 昼寝中は必ず職員が在室し、睡眠チェック表を用いて顔色や呼吸の確認を定期的（5分毎）（※2歳児は10分毎）に行ってています。
- (4) 敷布団（お昼寝マット）は、固くて通気性の良いものを使っています。枕は使いません。
- (5) 寝ている周りには物を置きません。
- (6) 部屋は顔色が見える明るさにしています。
- (7) 部屋の温度・湿度をチェックし、調節しています。



*乳幼児突然死症候群（SIDS：シズ）とは

SIDSとは、それまで元気だった赤ちゃん（ほとんどが1才未満）が事故や窒息ではなく、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

原因はまだよくわかっていないですが、育児環境の中にSIDSの発生率を高める因子“喫煙やうつぶせ寝など”のあることが明らかになってきました。

下記の3つのことを参考にして、日頃の子育てを再確認しましょう。



①あおむけで寝かせましょう



②タバコをやめましょう



③できるだけ母乳で育てましょう

《保育中に保護者に連絡をする場合》

○体調が悪い場合

◇お子さんの様子が変わった時

発熱・けいれん・発疹・活気がない・食欲がない・腹痛

突然のおう吐・下痢・鼻血が止まらないなど

◇お子さんの様子を知りたい時

昨日から今朝までの詳しい状態など



お子さんの体調が悪い時、お迎えをお願いする場合があります。誰がどの位の時間で来られるのかお伝え下さい。仕事の都合でお迎えが難しいこともあると思いますので、協力できる方などの手立てを考えておくとよいでしょう。

※職場を離れる場合は、連絡先を必ずお知らせ下さい。

○怪我をして受診する場合

- ・保護者に連絡をとり、怪我の状態を伝えます。
- ・受診先は、保護者と相談の上で決めます。
- ・緊急を要する場合は先に受診することもありますのでご了承ください。
- ・受診の結果は追って連絡いたします。



《保育園の応急処置》

薬を使用する事でアレルギー反応を起こしたり、医療機関を受診する場合、治療に影響を及ぼすことがあるため、薬の使用をできるだけ控えています。

軽度の擦り傷や打撲は、水道水で洗い流したり患部を冷やすなどして対応しています。

保育園の常備薬・・・かゆみどめ・冷却熱吸収剤
湿布薬・保湿クリーム・虫よけスプレーなど



《事故の場合の保険について》

賠償責任保険及び傷害保険に加入しています。

※詳細につきましては重要事項説明書をご覧ください。



入園までに用意するもの



◎すべての持ち物の見やすい位置に、はっきりと記名をしてください！

	品 目	補 足
各自ロッカーに 準備するもの	紙おむつ10枚程度	記名してください
	下着・靴下3セット	
	着替え上下3セット	
	ビニール袋（汚れもの入れ）	
毎日用意 するもの	給食・おやつ用ハンドタオル2枚	毎日持ち帰り洗濯をお願いしま す。
	給食・おやつ用エプロン（2枚）	同上（下記①参照）
	ひも付き手ふきタオル（1枚）	同上（20cm×20cm程度のハン ドタオル）
	連絡帳	（下記②参照）
週初めに持参し週 末に持ち帰るもの	園帽子	※紛失の際は保護者自己負担
	バスタオル1枚（お昼寝用）	※レッスンバッグに入れて持参し てください。
	布団カバー	おひるねマットカバー (下記④参照)
	哺乳瓶 or マグマグ	哺乳瓶だけではなく乳首部分に も記名してください
その他	避難靴（室内用うわばき）	毎月避難訓練の際、使用します。 使用した際は持ち帰り、洗濯をお 願いいたします。

*おむつは持参してください。※登園した際に補充バケツに入れて下さい。

*紙おむつは、後ろ側にマジックでフルネームの記名をしてください。※名前スタンプでも可

*1歳を目安にテープ式おむつ・ロンパース下着の着用をご遠慮ください。

☆作り方や詳しい説明は、次のページ以降をご覧下さい。

（備考欄にある番号の所を見てください）

☆その他、必要に応じて用意していただく物や使用時期に

変更がある時はその都度お知らせ致します。

☆夏季時期6月～10月までは水筒をご家庭で用意していただき、散歩の際に水分補給を行います。

その際は、クラスだよりにてお知らせ致します。





《おむつ 10枚程度》



《園で使用するおしり拭き》



《汚れもの入れ》
※ビニール素材



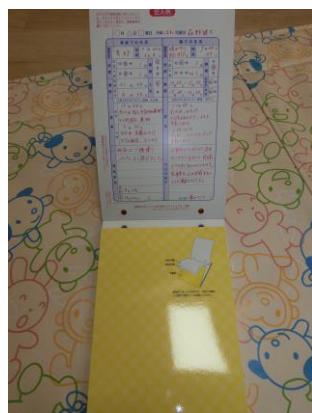
《食事用エプロン 2枚》



《着替えセット》



《コップ&コップ入れ》



《連絡帳※複写式》・毎日記入してください。



《避難靴・・園で1足預かります。》



《ループタオル 1枚》



《通園バック+名札》



《哺乳瓶 or マグマグ》

①食事用エプロン

よだれかけではなく、袖のない下部がポケット式の物で防水性のある素材が良いです。

②連絡帳

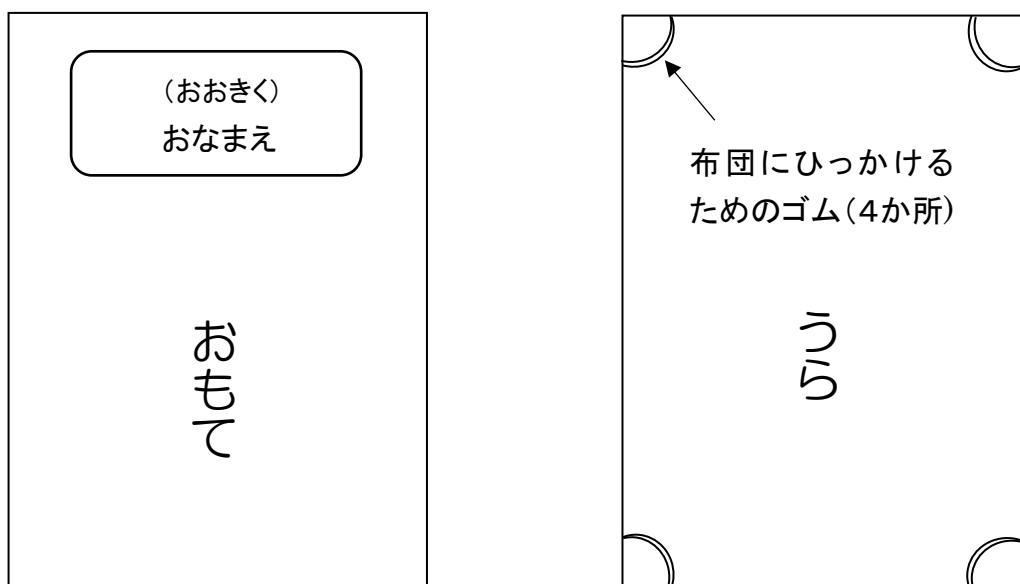
『乳幼児用れんらくちょう』を使用します。複写式になっていますので、複写部分は保管させていただきます。

③健康カード

(毎月、身長・体重を計測して記入するカード)

園で測定した身長、体重を記入して、配布いたします。確認の上、捺印またはサインをして、園に戻してください。その際、予防接種等受けた場合は、記入欄への記入をお願いします。

④布団カバー（おひるねマットカバー）



おひるねマットは園の物を使用します。カバーはおひるねマットの四隅にゴムをひっかけるようなタイプのものをご用意ください。

おひるねマット(園の物)のサイズ
長さ120cm × 幅70cm × 厚さ3cm
名前のサイズ たて20cm以上 × よこ40cm以上

⑤室内用うわばき（避難靴）

目立つところに名前の記入をお願いします。

⑥外遊び用靴〈1・2歳児〉

- 靴は足にあった、自分で脱ぎはきしやすい運動靴をご用意ください。
- 外遊び用靴は、避難の際にも使用することもあります。
- 名前をはっきりと書いてください。

*0歳児クラスの外遊び用靴に関しては、必要になった時にお声掛けしますので、その際にご用意お願いします。

※持ち物は、色や柄、メーカーなどの指定はありません。身体に規格が合えば、市販の物で構いませんのでご利用ください。※保育園は、集団生活ですので紛失を防ぐためにも、**すべての持ち物に名前をはっきりとお書きください**ますようお願いいたします。

《汚れた衣類の取り扱いについて》

当園では免疫機能が未熟な乳児から、3歳までの子ども達が集団で長時間生活をしています。こうした乳幼児の施設である保育園での感染症対策として、平成24年11月に厚生労働省より「2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン」が発表されました。

便などの排泄物やおう吐物の中には、症状がなくなっていても長期間ウィルスや細菌が排出されていると言われています。特に感染性胃腸炎などは感染力が非常に強く、子どもたちの便やおう吐物の取り扱いには十分注意しています。

上記ガイドラインを受け、汚れた衣類は年間を通じて洗わずにお返しします。

集団の感染拡大防上ために保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

なお、持ち帰りました衣類の洗濯と消毒については下記の資料をご活用ください。

本日、おう吐物・便で衣類が汚れました。

集団での感染拡大防止のため、申し訳ありませんがそのままお返しします。

ご理解とご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。



持ち帰った衣類の洗濯について

・上着　・肌着　・ズボン　・パンツ　・その他（ ）

《消毒方法》　熱湯、または塩素系漂白剤で消毒します。

※直接手で触らないように、ゴム手袋をしましょう。

① 準備するもの

ゴム手袋（使い捨て手袋）とマスク・衣類を浸すバケツ類・ビニール袋

熱湯・または消毒液（塩素系漂白剤）

② 手順



ゴム手袋（使い捨て手袋）とマスクをし、汚物を一度水洗いして落としてから消毒します。

周囲に飛び散らないように気をつけて水洗いしましょう。



熱湯の場合	85°C以上の熱湯で1分間以上浸します。 やけどの注意しましょう。
塩素系消毒液の場合	0.02%次亜塩素酸ナトリウム液に30～60分間浸します。 (ハイター、ピューラックスなど) <消毒液の作り方> 2ℓのペットボトル1本の水に、ペットボトルのキャップ2杯の消毒液(10cc)を入れます。 衣類が浸る程度の消毒液を作りましょう。 ※詳しくは製品の表示をご覧ください。 ※色落ちすることがあります。 塩素ガスを発生しますので、換気を充分にしましょう。

③ 消毒した後、他のものと分けて最後に洗濯します。

④ 汚物を水洗いした場所も0.02%塩素系消毒剤で消毒しておきましょう。

⑤ 使用した手袋やマスクは、ビニール袋に密封して捨てましょう。

⑥ 終わったら石鹼でよく手を洗い、うがいをしましょう。

